

■全数把握対象疾患(結核、新型コロナウイルス感染症を除く)

四類感染症の**レジオネラ症**1人(病型:肺炎型)の報告がありました。

五類感染症の**アメーバ赤痢**1人(病型:腸管アメーバ症)、**ウイルス性肝炎**1人(病型:その他 サイトメガロウイルス)、**侵襲性インフルエンザ菌感染症**1人、**播種性クリプトコックス症**1人の報告がありました。

☆ ご存じですか?レジオネラ症!

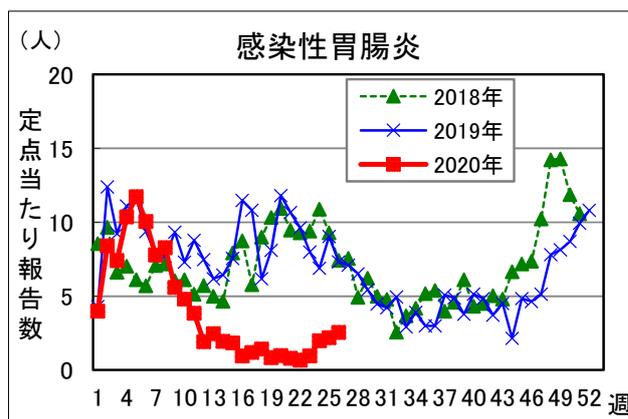
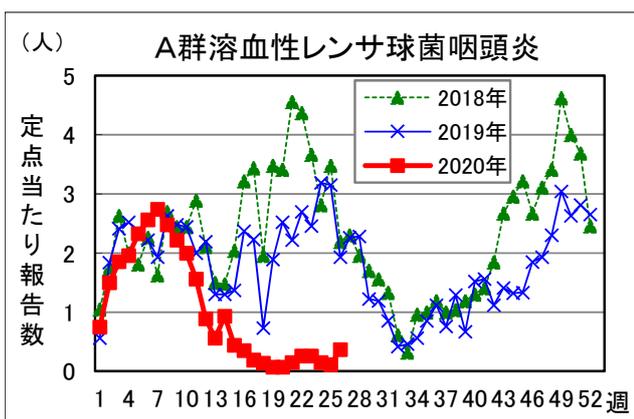
原因となるレジオネラ属菌は、もともと土壌や水環境に存在する菌です。レジオネラ属菌を含んだエアロゾル(細かい霧やしぶき)を空気と一緒に吸い込んだり、ガーデニングや農作業で汚染された腐葉土の粉じんを吸い込んで感染します。エアロゾルが発生する高圧洗浄、粉じんの発生する腐葉土の取り扱い時などにはマスクを着用して感染を予防しましょう。

詳細は、市感染症情報センターホームページ「レジオネラ症」をご覧ください。

■定点把握対象疾患

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、**感染性胃腸炎**の報告が増加傾向でした。

細菌性髄膜炎の報告が1人(40-44歳)ありました。



○定点当たり報告数表(第26週 6月30日 13:00集計)

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	0.00	→	—
RSウイルス感染症	0.00	→	—
咽頭結膜熱(プール熱)	0.04	→	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	↑	—
感染性胃腸炎	2.56	↑	—
水痘(みずぼうそう)	0.00	→	—
手足口病	0.15	→	—

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00	→	—
突発性発しん	0.89	→	—
ヘルパンギーナ	0.04	→	—
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.07	→	—
急性出血性結膜炎	0.00	→	—
流行性角結膜炎(はやり目)	0.38	→	—

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:今週の流行状況を示します(過去5年間の同時期との比較)。(小さい←、☆、☆☆、☆☆☆→ 大きい)

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2020年第26週 令和2年6月22日～6月28日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-						
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	1	0.04	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.37	-	-	1	-	2	-	2	1	2	-	1	1	-	-						
感染性胃腸炎	69	2.56	-	1	11	5	5	4	5	4	2	8	3	17	1	3						
水痘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
手足口病	4	0.15	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	24	0.89	-	5	14	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1	0.04	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	2	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-						
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.38	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
細菌性髄膜炎 #2	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザによる入院患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

（ - : 0 ）

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況… : 警報レベル、 : 注意報レベル

6月 30日 13:00 集計

全数把握対象疾患届出数(2020年)

類型	疾患名	2020年 第26週 受理分	2020年 累計 ※1	2019年 累計 ※1,2	疾患名	2020年 第26週 受理分	2020年 累計 ※1	2019年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	2	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	28				
四類	E型肝炎	0	3	3	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノコックス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	1	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	1	0	マラリア	0	0	2
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	1	6	15
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	1	
デング熱	0	0	2	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	1	6	8	侵襲性肺炎球菌感染症	0	8	43
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	1	3	水痘(入院例に限る)	0	4	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	2	11	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	0	1	3	梅毒	0	22	77
	急性脳炎	0	11	35	播種性クリプトコックス症	1	2	3
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	8	9	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	6	14	百日咳	0	13	146
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	29
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	4	6	麻しん	0	0	4
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
	新型コロナウイルス感染症 ※4							
指定感染症	新型コロナウイルス感染症 ※4							

2020年6月30日 15:00集計

※1 累計は診断日で集計しています。 ※2 2019年累計は速報値となっています。
 ※3 結核は四半期ごとに集計し、さいたま市感染症情報センターホームページに掲載しています。
 ※4 政令により令和2年2月1日から指定感染症に定められました。発生状況については、さいたま市ホームページに掲載しています。